

7. 目標別スポーツライフ

—トレーニング・食事・睡眠—

鈴木正成（筑波大学）

年間にわたるスポーツ課外活動は、シーズンに対応した目標を掲げてすすめられます。基礎体力をつけてそれぞれの競技に必要なパワーやスピードを増強するために、筋肉づくりに努力するとか、スタミナの強化に励むなどがあります。また、体重を増やしたいとか、逆に体脂肪を減らしたいなど、ウェイトコントロールが必要な場合もあります。その目標を効果的に達成するには、トレーニング、食事、睡眠の3つのスポーツライフ要素に、特別な配慮をすることが必要ですし、さらに3つの要素の組み立て方を合理的なものにすることが大切です。

1. パワー・スピードを増強するために 一筋肉づくり—

どのスポーツでもパワーとスピードを増強することが、競技レベルを高めるために必要ですが、それには、筋肉づくりに励まなければなりません。筋肉は二つのタイプの筋肉線維でできており、速筋（白筋）と遅筋（赤筋）で構成されています。

このうち、パワー・スピードの発揮を中心となって活躍するのは速筋（白筋）で、もう一つの遅筋（赤筋）はスタミナの発揮に働く筋肉線維です。したがって、パワー・スピードを増強するには速筋（白筋）を増強しなければなりませんが、ウェイトトレーニングが有効です。

ウェイトリフティングや柔道、陸上の投擲種目、跳躍種目、そして短距離

走のような瞬発力を要するスポーツ種目の選手が、ウエイトトレーニングを重視するのは速筋（白筋）を増量することが必要であるからです。

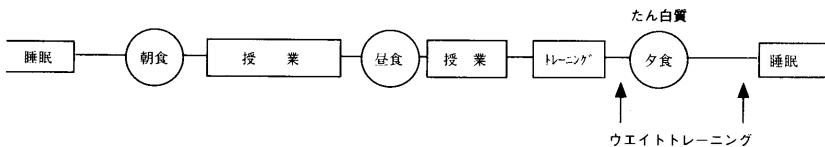
ウエイトトレーニングによって筋肉が増量する機序として、筋肉線維に損傷が生じ、その修復が過大におこること、そして筋肉づくりを促す成長ホルモンの分泌が高まることがあります。

一般に、筋肉づくりのウエイトトレーニングは、ヘビーな重量負荷で行われますが、骨格の発達が続いている若年ジュニア選手の場合には、軽量負荷を利用すると良いでしょう。また、ウエイトトレーニングによる成長ホルモンの分泌は、15～30分くらいの短時間のトレーニングでも活発化するので、トレーニング時間を長時間にする必要はありません。そして、成長ホルモンの分泌はトレーニング直後から2時間ほど活発になるので、トレーニングを終えたら身体を休養させて、筋肉づくりを促すようにするのが大切です。

その成長ホルモンは血中アミノ酸を筋肉細胞内に取り込むことを活発化しながら、筋肉のたん白質合成をすすめます。したがって、トレーニングの前にたん白質食品を食べて、消化・吸収がすすんだ状態でトレーニングをし、その後休息にはいるか、あるいはトレーニング終了後すぐにたん白質食品を食べ、そのまま休息に入るのが合理的です。

さらに、眠る子は育つといわれるよう、成長ホルモンは睡眠中に自然に活性化して筋肉づくりを促してくれます。そこで現実的には、夕食でたん白質を豊富に含む肉や魚料理などを食べ、1～1.5時間休んだところで15～20分間、2～10キログラムのダンベルを使って全身の筋肉に収縮運動の刺激を与え、入浴したあと机に向かって勉強しながら身体を休息させ、深い眠り

筋肉づくり



につくような生活リズムが、筋肉づくりには適切です。もちろんダンベルを使うトレーニングを、夕食の直前に実行するやり方も良いでしょう。

また、合宿期には午前中のトレーニングの最後にウエイトトレーニングを15~20分やり、昼食でたん白質食品をきちんと食べ、1~4時までの3時間ぐらいの午睡をとるやり方もできます。

ところで、筋肉づくりを促すには、成長ホルモンだけではなくインシュリンの協力も必要です。それにはたん白質に加えて炭水化物をとらなければならないので、でんぷん質食品のごはんやパン、スパゲッティー、麺類、もちなどを夕食や昼食できちんと食べる事が必要です。

2 スタミナを増強するために 一持久力・貧血対策一

スポーツのスタミナは心肺機能と血液の有酸素エネルギー代謝能によって支えられていますが、持久性のトレーニングによって両者とも増大します。

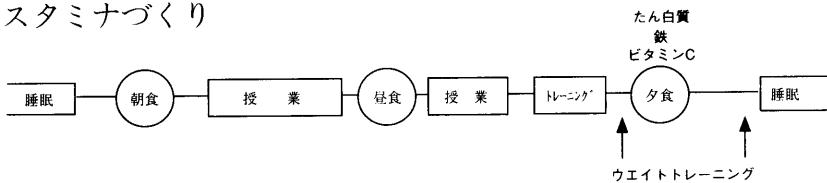
筋肉の有酸素エネルギー代謝は遅筋（赤筋）で中心的に営まれますが、持久性トレーニングによって筋肉に毛細血管網が発達し、筋肉にミオグロビン（赤い肉色素：酸素の貯蔵体）が増量し、筋内にミトコンドリア（赤いエネルギー生産袋）が増量します。すなわち、筋肉の「赤筋化」がおこります。したがってヘモグロビン、ミオグロビン、ミトコンドリアの量を増量し、それを減量しないようにすることがスタミナ対策となります。しかし、1回のトレーニングで赤血球の破壊がおきてヘモグロビンが減量し、筋肉の細胞膜が損傷してミオグロビンが減量します。そのために、毎回のトレーニングを質量共に充実させるには、日常的にスタミナ対策に努めなければなりません。具体的には、ヘモグロビンやミオグロビンの補充を促すこと、そして損傷した筋肉細胞の修復をすすめることが必要です。

ヘモグロビンとミオグロビンは鉄を含むたん白質で、筋肉細胞もたん白質でできているので、鉄とたん白質の栄養に留意することが大切です。それに、睡眠中に成長ホルモンの分泌が活発化してたん白質合成が高まることを

利用し、夕食でたん白質と鉄をとり、夕食後から就寝までの間に15~20分のダンベルトレーニングを実行するようなリズムを作るのが合理的です。これは筋肉づくりのスポーツライフと基本的には同じですが、食事の面でたん白質の他に鉄をきちんととることに留意しなければなりません。特に鉄は吸収され難いので、吸収を阻害するタンニン（コーヒー、紅茶、緑茶などに多い）、フィチン酸（玄米ごはんや豆腐などに多い）そしてカルシウム（牛乳、乳製品に多い）などを同時にとることを避けるようにします。逆に鉄の吸収を促すビタミンCやクエン酸（レモン、オレンジ、グレープフルーツなどに多い）などを同時に摂るようにします。

したがって、夕食では鉄とたん白質の両者を豊富に含む食品（赤身の魚や肉）や鉄が多く含む食品とたん白質食品をしっかり食べること。料理にレモン汁などをかけて食べること。夕食後に柑橘類のデザートやジュースをとることなどがスタミナ対策になります。

スタミナづくり



3 ウエイトコントロール 一増量と減量一

1) 体重を增量するには……

筋肉を增量するか体脂肪を增量するか、2つの方法があります。

筋肉を增量するにはパワー・スピード増強のための筋肉づくりにあわせた生活リズムの下に、ウエイトトレーニングを重視することが必要です。大相撲界のように、午睡を生活化してウエイトトレーニングを昼食前と夕食後からの就寝までの間、1日2回実行するようなスポーツライフを実行すれ

ば、より効果的に筋肉づくりを促すことができるでしょう。

体脂肪を増量するには、食事を高糖質食にすること、そして夜の睡眠中に体脂肪蓄積が促されるようにすることが有効です。

高脂肪食はエネルギー摂取量を自然に大きくして、過剰エネルギー摂取につながりやすいので、体脂肪の増量に役立ちます。また、高脂肪食を夕食で食べたあと、インシュリンの分泌を強く促す甘味デザートを楽しむと、夕食の脂肪が効率よく脂肪組織に取り込まれて貯蔵されます。これは脂肪組織の酵素リポ蛋白リバーゼがインシュリンによって活性化され、血中脂肪の取り込みを活発化するためです。基本的にインシュリンは炭水化物食品（ごはん、パン、スパゲッティ、麺類、いも、もち、バナナなど）や糖分（砂糖、麦芽糖、ブドウ糖など）を摂ると分泌されてきます。そのインシュリン分泌は、食後に体を安静状態にしていると、高く維持されます。したがって夕食のように食後に体を休めることになる食事で高脂肪食をとること、そして夕食後に甘味を食べたり、フルーツジュースやソフトドリンクを飲むことなどが、体脂肪の蓄積を高めます。

2) 体重を減量するには. . . .

体脂肪を減量する方法と体水分を減量する方法があります。そして、日常的な減量と試合前の緊急な減量があります。体水分を減量する方法は、柔道、ボクシング、ウエイトリフティングなど、体重別スポーツの試合前に緊急減量法として採用されますが、健康を損なう危険を伴います。

したがって発育・発達期にあるジュニア期のスポーツ選手は、日常的なウエイトコントロールによって、体脂肪を過剰に蓄積しないように努力しなければなりません。それには、油料理（揚げ物や炒め物）をなるべく避けて、低脂肪料理を中心とした食生活を送ることが必要です。とくに夕食で高脂肪食を避けることです。

夕食を早めに食べて就寝するまでによく体を動かすことも必要です。これは、食後のインシュリン分泌を抑制することによって、血中の脂肪が蓄積さ

れずに筋肉などで分解され易くなるので、体脂肪蓄積の防止に大いに有効です。

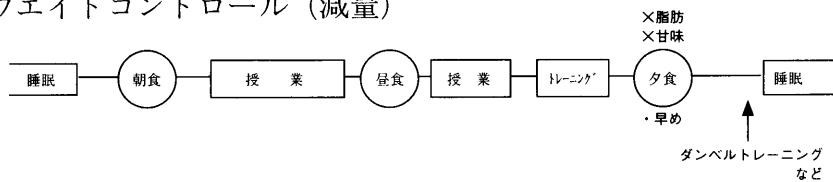
積極的に体脂肪を減らすには、まず、間食をしないことです。間食で血糖を上昇させインシュリン分泌を促すと、貯蔵脂肪の動員（脂肪組織から血中に脂肪酸となって放出されること）が抑えられてしまいます。頻繁に菓子を食べたり甘いドリンクを飲むことが、それにつながります。

食事と食事の間を絶食することは、貯蔵脂肪の動員を促し、筋肉などによる脂肪酸の取り込みを高め、そのエネルギーへの分解を促すことにつながります。その状態で夕方にトレーニングを実行すれば、体脂肪は効率よく減量していきます。

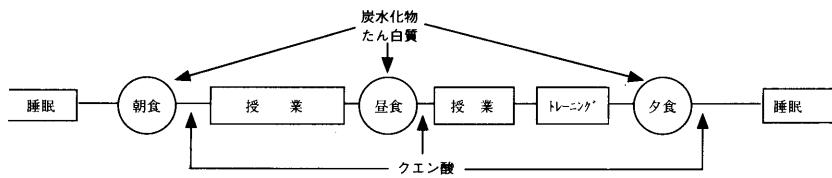
夕食のあとで積極的に運動することも、貯蔵脂肪の減量を促すのにつながります。一般に減量すると筋肉も減量してしまって体力の低下を招くので、筋肉の增量作用を持っている運動を夕食後に実行することがすすめられます。ダンベルトレーニングなどは適当な運動です。ダンベルトレーニングは、運動中のエネルギー消費の小さい運動ですが、筋肉の增量とエネルギー代謝活性を高めて安静代謝量を増大します。そのために、睡眠中も活動中もエネルギー消費の大きい体になります。

一般に、女子スポーツ選手が減量に関心を持ってダイエットしますが、減食で減量しようとする例が大部分です。女子スポーツ選手こそダンベルトレーニングなどで筋肉を鍛えて、安静代謝量を大きくする方法でダイエットすることがすすめられます。

ウェイトコントロール（減量）



グリコーゲン（カーボ）ローディング



〈トピックス〉

○グリコーゲン（カーボ）ローディング法

スポーツのエネルギー源として、筋肉グリコーゲンと血中ブドウ糖が重要であり、血中ブドウ糖の供給源となる肝臓グリコーゲンが大切です。試合前だけでなく毎日のトレーニングの前に、肝臓と筋肉にグリコーゲンをきちんと貯蔵しておくことは、トレーニングを充実させ、実力を発揮するのに必要です。しかし、グリコーゲンは貯蔵され難く、スポーツで消費されやすく、回復も遅いので、肝臓や筋肉にグリコーゲンを十分に蓄積するための努力、すなわちグリコーゲン（カーボ）ローディングが必要です。

①スポーツを終了したら早く食事をとること

スポーツで消費された筋肉グリコーゲンの回復は、スポーツ終了から食事をとするまでの時間によって大きく違ってきます。すぐに食事をとることは2時間も空腹を続けてから食事をとるのに比べて、筋肉グリコーゲンの回復を約2倍も大きくなります。

②炭水化物とたん白質をきちんと摂ること

グリコーゲンの合成を促すには、原料となる炭水化物を食事でとること、さらにグリコーゲン合成を促すホルモンであるインシュリンの分泌を高めることが必要です。

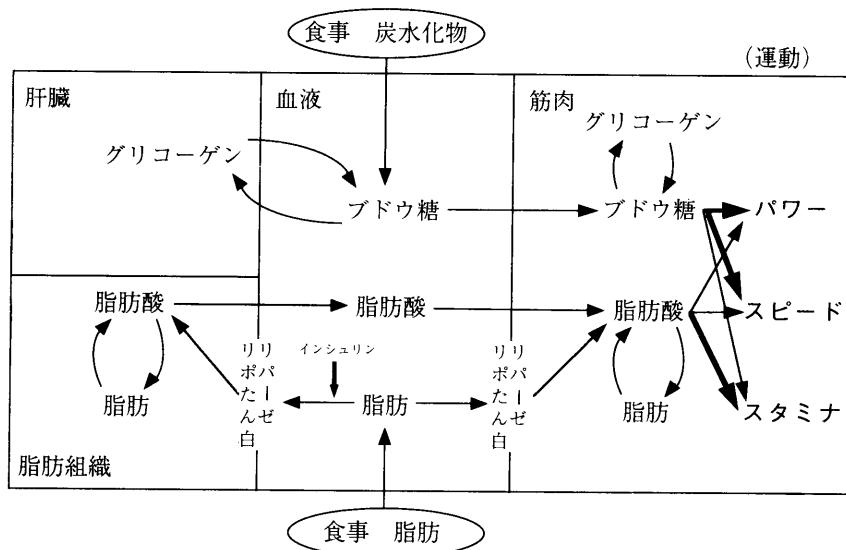
炭水化物（でんぷん） 食品のごはん、パン、パスタ、麺類、いも、もち、バナナなどを食事や食後のデザートでしっかり食べることが、まずは大切です。

その炭水化物はインシュリンの分泌を刺激しますが、同時にたん白質をとるとその刺激作用が一層高まります。したがって、でんぶん質食品に加えてたん白質食品である卵やチーズ、魚や肉などを食べあわせることが、グリコーゲン（カーボ）ローディングに有効です。

③食後にオレンジジュースを飲む

炭水化物はグリコーゲン合成の材料になるほか、エネルギー源として分解されますが、クエン酸によってグリコーゲン合成に利用される率が高まります。

クエン酸を豊富に含む柑橘系(レモン、オレンジ、グレープフルーツなど)を食後にデザートとして食べるか、それらのジュースを飲むことが、グリコーゲン（カーボ）ローディング法に応用されます。



○ファットローディング法

スポーツのエネルギー源として脂肪は最も多量に分解されますが、皮下やお腹の脂肪組織に多量に貯蔵されるため、その貯蔵を促すことはほとんど必要とされていません。

その貯蔵脂肪は脂肪組織から血中に脂肪酸となって放出されたあと、筋肉に取り込まれてスポーツのエネルギー源として分解されます。しかし、筋肉のエネルギー源となる脂肪酸の供給源はもう 2つあります。

1つは血中脂肪で、筋肉のリポたん白リパーゼによって脂肪酸に分解され、筋肉に取り込まれてスポーツのエネルギー源となります。もう 1つは筋肉脂肪で、筋肉内でホルモン感受性リパーゼによって脂肪酸に分解され、エネルギー源となります。

これらのうち、持久性スポーツでは筋肉脂肪が筋肉グリコーゲンよりも優先的にエネルギーに分解されるので、グリコーゲンの節約をもたらしてスタミナ延長に役立ちます。

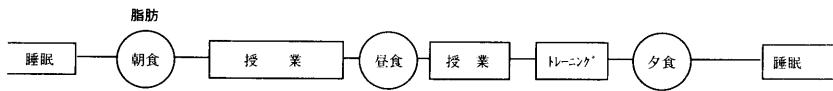
そこで筋肉に脂肪を蓄積するためのファットローディングが重要となります、それには食事で脂肪をとることが有効です。食事の脂肪は血中脂肪(カイロミクロン脂肪)として現れ、脂肪酸に分解されながら筋肉に取り込まれます。その脂肪酸はスポーツのエネルギー源として分解されるだけでなく、再び脂肪となって筋肉に蓄積されます。

しかし、血中脂肪は脂肪組織に取り込まれて貯蔵脂肪となるので、不要な体重増加につながる心配があります。それは、食後に体を安静にしてインシュリン分泌を高く維持しながら、血中に脂肪を多量に供給したときにおこります。それを避けるには食後に体を動かす必要があります。したがって、筋肉にファットローディングするための脂肪をとるタイミングは、食後に休息することになる夕食ではなく、食後に体を動かす事になる朝食であることがあります。

朝食で玉子、チーズ、バター、ハムやソーセージのような脂肪を含む食品

を食べることが、筋肉脂肪の蓄積を促すファットローディングに有効です。

ファットローディング



—ジュニアボート選手の実践例—

天野 修一 (諏訪清陵高校ボート部顧問)

スポーツライフの改善について、ダンベルトレーニングの導入と練習後30分前後の食事の2点に重点を置いて活動しました。

諫訪清陵高校ボート部では、部員のほとんどがボート未経験者であり、中学生時代に運動部活動の経験のないものさえいるという、一般高校生と変わらない体力の者の集団です。練習時間についても制約を受けることが多く、その中で筋力、漕力をいかに向上させるかは大きな課題です。主たる練習は早朝に行なわれるため、学業が本分である部員達は、昼間の授業や帰宅後の家庭学習では、とかく集中力を欠いてしまうというマイナスの要素もあります。このような状況にある部員のスポーツライフが半年後、一年後いかに変わったか、顧問としての感想を述べます。

まず体力的・精神的な面に対する「ダンベルトレーニングの導入と練習後30分前後の食事」が及ぼした影響をみると、次のようにになります。

ダンベルトレーニングは、毎日夕食後から就寝までの間に実施するように指導しました。夕食については、放課後の練習終了後30分前後を目標とし、地理的に難しい者については、練習後の補食によってそれを実施させようしました。その結果、実施開始から約3ヶ月で、部員のほとんどに最大筋

力の上昇が認められ、ランニングやローイングエルゴメータ等の数値にも急激な向上が見られました。毎年7～8月には、暑さに加え、練習量の増加、大会遠征などが重なるため、部員の多くが体力的にも精神的にも非常に落ち込むという傾向が顕著に見られます。しかし、今年については、全くといってよいほどそのようなことが見られず、質の高い練習を十分に行うことができました。このことは「ダンベルトレーニングの導入と練習後30分前後の食事」が体力向上と共に精神面にもよい影響を与えた結果であると確信しております。そしてこのような向上はもちろん、レース結果にもプラスとなって現れてきました。特にインターハイにおいて女子ダブルスカルは準優勝という、過去の成績の中で最もよい結果を生むことができました。

次に、ボート部活動と学業の両立ということに目を向けてみます。私は、ボート部の監督であると共に高校の教師の立場にもあります。部員達と接している中で日頃の授業態度・学業成績等は常に気がかりです。学業成績の思わしくない者が、その理由をクラブ活動に求めることがないようにも指導しています。とはいえ、早朝練習で疲労し、授業中にうとうとしている生徒を気の毒に思うときもあり、日頃から授業中や帰宅後の家庭学習に集中力や取り組み方がよくなる方策はないものかと考えていました。

このことに関連して、ダンベルトレーニング導入後、部員達が口にしたことは、朝の目覚めがよいということと、授業や家庭学習での集中力が持続するようになった、ということでした。その最も大きな理由としては、やはり「ダンベルトレーニングの導入と練習後30分前後の食事」による体力の向上をあげることができます。

また、家庭学習においては、学習の間にダンベルトレーニングを取り入れることによって気分転換がはかられ、眠気防止にも役だったようです。学習成績については、授業と家庭学習への取り組みがよくなつたことで、実施後約半年でほとんどの部員の間で成績に上昇傾向が見られました。先述のインターハイで準優勝した2人は、一流私大と国立大にそれぞれ進学できました。

以上が、スポーツライフの改善がもたらした効果について、顧問として感じたことです。まとめとして競技力の向上に多大な影響があったと考えられます。特に高校生が学業とクラブ活動を両立させるという課題に対しては確実に好影響を与えていると、直接生徒と接している中で感じています。また、生活の中にダンベルトレーニングを規則的に取り入れることにより生活にリズムが生まれ、精神的・身体的にも余裕が生まれることで、安定した生活が送れるのではないかと感じています。

——ボート部員の感想——

〈上島雅代〉

1996年6月から12月まで約半年間、清陵高校端艇部は、「スポーツと栄養学」について調査・指導を受けました。栄養学は今私が最も興味がある分野で、今回は非常に良い勉強になりました。最初鈴木正成教授を含めた三人の先生方に栄養学についてボートに関連させた形で講義を受けました。私は普段の食事においてもいろいろと気を使っている方で、不規則な生活をしてはいませんでした。でも、調査指導を受けてからは、より自分の体の事を栄養面からも考慮して、毎日の部活動に励むようにしました。筋肉をつくるために夕食は部活後三十分以内に食べる、タンパク質を多く摂取する、夕食後は十分程度ダンベルトレーニングを行う、睡眠時間を多くとるなど、指導の通りに、もちろん自分でもあれこれ考えながら一日の生活を送りました。部活でのトレーニングでもまた、呼吸の仕方やランの時のペース配分など色々とやってみたりもしました。

このようにして半年間を過ごし、調査後、結果をまとめてみました。まずやる前とやった後で体重が3～4キロ増加しました。筋肉がついたためだと思います。そのせいでランの記録は落ちてしましましたが、ローイングエルゴメーターの記録、特に長時間漕または長距離漕での記録が伸びました。ウェイトも以前よりスクワットや

デッドリフトなどより重い重量を上げられるようになりました。ボート成績も記録を残してくれた先輩たちに一步一步近づいていると思われます。

一応お年頃の女子高生なので、増えてしまった体重は気にならないということは無理がありますが、確実に記録が伸びてきたことをやはり嬉しく思います。すごく嬉しいです。これからも、ダンベルトレーニングを今までのよう毎日欠かさずやるようにしたいと思います。また栄養の面に関しても同じように、これからもっと良い筋肉をつけて良い体をつくっていけるように考えていきたいと思います。そして自分の記録をもっともっと更新出来るように努力をしていきたいと考えます。そして今シーズンこそはレースで勝ち続けていけるように頑張ります。みんなの調査の結果が十分に出てくれることも大いに期待をしています。

今回の事は本当にいい経験になりました。この経験をこれから先も活かしていきたいと思います。

〈澁木謙一〉

昨年の三月、トレーニングと食生活についての講義を聞きました。それまで自分は食生活と部活でのトレーニングとの関連性などまったく考えたことがなく、初めて耳にするようなことがほとんどでした。講義後に少しばかり実行できるものもありましたが、持続性がなく効果として現れませんでした。6月にダンベルと二冊の本をもらい、講演で聞いた内容がより丁寧に説明してある二冊の本を読むことで、自分でも納得して取り組めました。

まず実行に移したのが朝食を抜かないようにすることでした。朝起きるのが予定より遅くなり、着がえだけですぐに家を出ることがよくあり、自然と朝食をぬくようになっていました。そのためか午

前中に寝ることが多く、ボーッとしている回数も増えていました。時間にゆとりをもって朝起きることをこころがけました。またたとえ寝過ごしてしまったときもパンをもつようにして、朝食をとることを心がけました。体が疲れきっているときは寝てしまうこともありますでしたが回数は減りました。そして朝がだるいというのも、ダンベルを寝るまえにやることで変化が見られました。それまでは授業中や帰ってすぐに寝てしまうため、夜に目が覚めてしまいベッドに横になっただけで1～2時間起きている状態が続き朝起きられないという悪循環が生じていました。ダンベルを寝るまえに始めてからは寝つけない日は減少し、意外に朝起きるのが以前にくらべ辛くなりました。またテスト期間で部活が休みになり、体を動かさず1～2週間過ごしてから、テスト明け初日の部活に臨むと当然のことながら体力の落ちが激しく、いつもこなしているメニューが非常に辛く感じることがありました。しかしテスト期間中も、寝るまえに15分程いつもどうりダンベルをしてテスト期間を過ごすと、テスト明けの練習は何もしないで過ごした頃とは明らかに違っていました。確かに体力の落ちはあるものの、記録などを見てもそんなに落ちは感じませんでした。

自分でも経験してきたように、同じトレーニングをするにも、食生活しだいでトレーニングの効果をより高めることもあれば、成果を十二分に発揮できないこともあります。もっとスポーツ栄養学について考え、学び日々のトレーニングをより意味のあるものにしていきたいと思います。

B. 食事作りのポイント 家庭、寮、遠征先

杉浦智子（共立女子短期大学）

1 家庭での食事作り

(1) 調理法による栄養調節

調理法は、素材と選手のトレーニング量および体調に合わせて工夫します。同じ素材でも調理法によりエネルギー量は違ってきます。ここでは牛もも肉の例をとりあげました。牛ももをゆでた場合が最もカロリーが少なくなります。炒める・揚げるといった調理法は油を用いて調理するため、生のものよりもカロリーがやや増えます。特に揚げ物は衣の量が多ければ多いほど油を吸収し、カロリーが高くなります。

調理法によるエネルギー量の違い								単位:kcal/100g
生	ゆでる	網焼き	蒸す	煮る	炒める (テフロン)	炒める (普通)	揚げる (唐揚げ)	揚げる (フライ)
牛もも	148	134	143	143	145	150	150	240

また、ウエイトコントロール（減量）が必要な場合は以下の点に注意しましょう。

- ・糖質よりは脂質を減らす。
- ・肉や魚は脂身のないところを選ぶ。
- ・鶏肉は皮をはがして使う。（40%のカロリーカット）
- ・油を使う料理は、電子レンジやテフロン加工のフライパンを用い、油を使わずに調理する。
- ・肉や魚を焼くときはオーブンや網焼きで、さらに脂肪を落とす。

- ・肉は調理する前に湯通しすると、余分な脂肪を落とせる。
- ・ドレッシングはノンオイルを使用する。
- ・間食に、スナック菓子などをひかえる。

(2) お弁当

お弁当は、学校などでは冷やしておくことができないため、いたまないよう工夫しましょう。タンパク質を多く含んだ食品を2品くらいは入れ、お弁当に不足しがちな野菜は、ゆでる、炒める、煮るといった調理法にすれば、全体のかさが減り、野菜を多く詰めることができます。また、食欲のないときにはカレー粉や梅肉などを用い、味付けを変化させると食も進むことでしょう。

果物などがお弁当箱に入らない場合、別の容器に入れてでも必ず持っていくものです。飲み物としては甘いジュース類ではなく、購買などで牛乳やヨーグルトなどを購入し補足するよう心がけましょう。

2 合宿時 一選手たちが作る食事ー

学校や食事でのない合宿所の場合、選手たちが食事を作らなければならぬ時もあります。しかし、調理器具がそろっていなかったり、日常料理を作ることが少ないため、簡単に調理でき、多くの食材を一度に摂取できるカレーライス・シチュー・鍋物などの煮込み料理が一般的な献立でしょう。しかし、材料が偏っていないかを考え、カレーライスなどは牛乳やサラダ、果物類をつけたりしましょう。また、皆でつつき合う鍋物などは、楽しく食欲も進みますが、好きな素材ばかりを選ばないでいろんなものを均等にいただきましょう。

長い期間の合宿では、同じ鍋物でもメインの具を変えてみたり、キムチなどをを利用して味付けに変化を付ければ、選手も食事にあきないでしょう。

3 遠征先

遠征先では、ホテルや旅館に泊まる場合が多いですが、そういう時には食事が選手のトレーニング状況やコンディション、嗜好に合わない場合も生じてきます。

特に、ホテルや旅館では、一般に高たんぱく質・高脂肪の食事が多く、野菜は少ない傾向にあります。

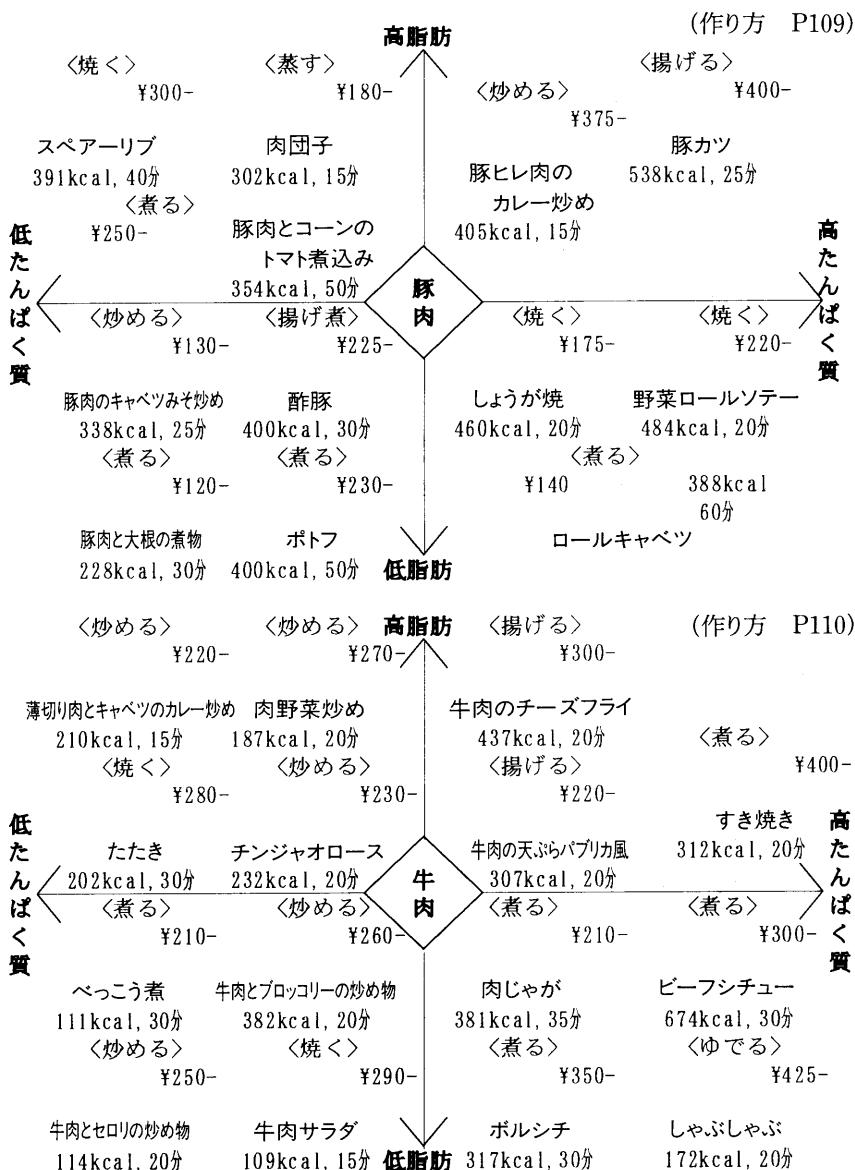
そこである程度、献立などを事前に知ることがあれば、栄養士にチェックしてもらう事をお勧めします。また、あらかじめ宿泊先と相談して漬け物を野菜炒めに変更してもらったり、おひたし、煮物、豆腐を追加したりという事が可能な場合も多くありますのでお試しください。

バイキング形式の場合には、好きなものばかりをたくさん盛るのではなく、数品をバランスよく盛りつけ、足りない場合は再度取りに行くようにしましょう。

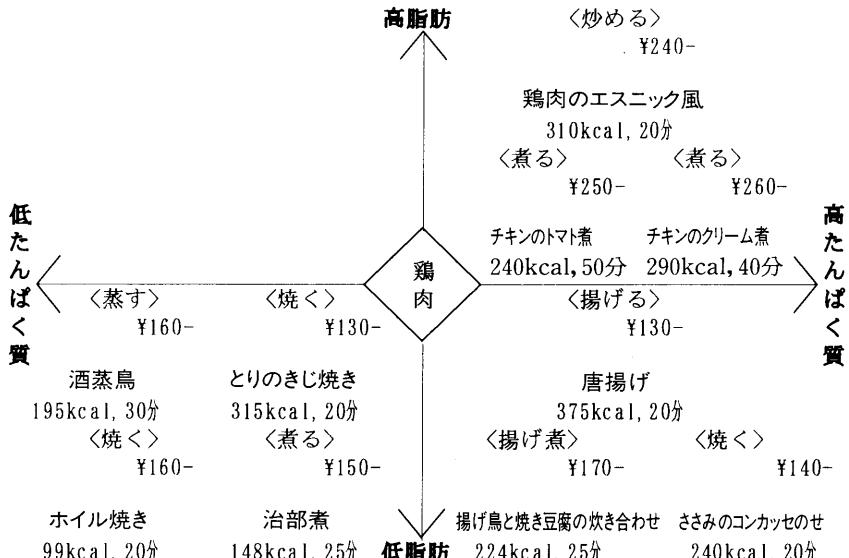
* * * * *

それでは、なるべく多くの食品を摂取できるように、いろんな食材を盛り合わせたメニューをご紹介します。先にも述べていますが、食事はエネルギー量だけではなく、栄養バランスもとても大事です。近頃では、たんぱく質：脂質：糖質エネルギー比が崩れ、脂質エネルギー比が高い食生活になってきているようです。そこで、脂質量やたんぱく質量も考えた献立作りをするために、素材ごとに低脂肪・低たんぱく質～高脂肪・高たんぱく質の4つの分類しました。今までの献立をふりかえりながらこれらのメニューを参考に、より一層あなたにあった献立を考えてみましょう！

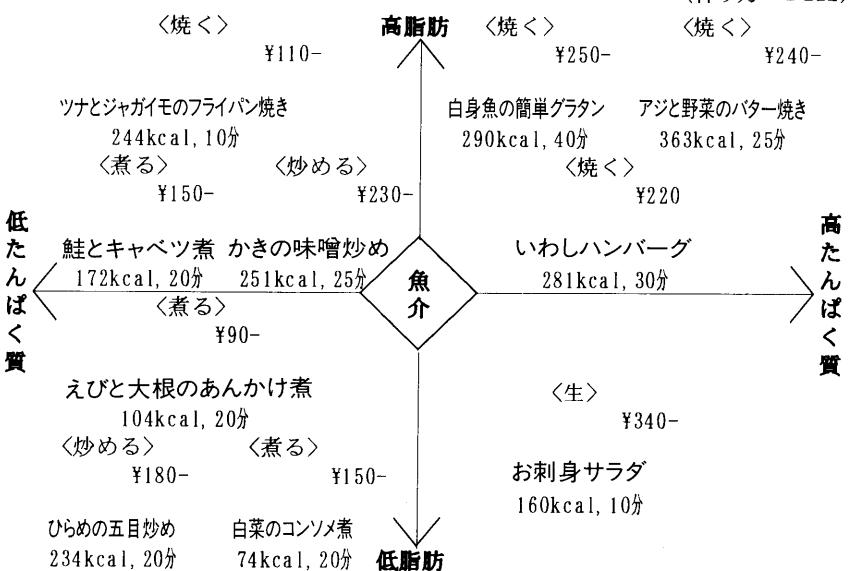
低脂肪・低たんぱく食～高脂肪・高蛋白食一覧表



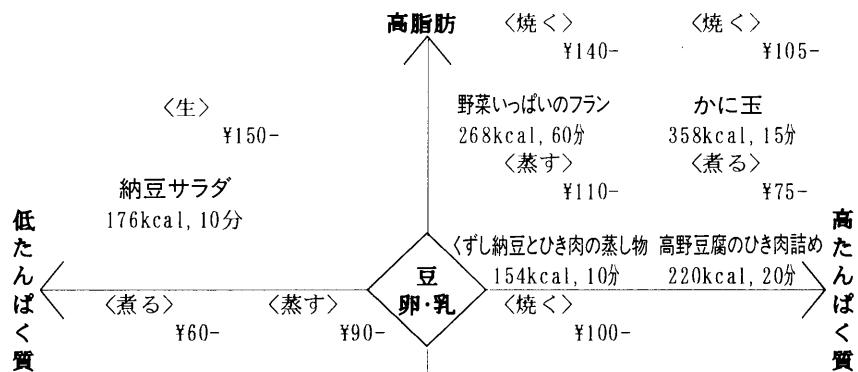
(作り方 P111)



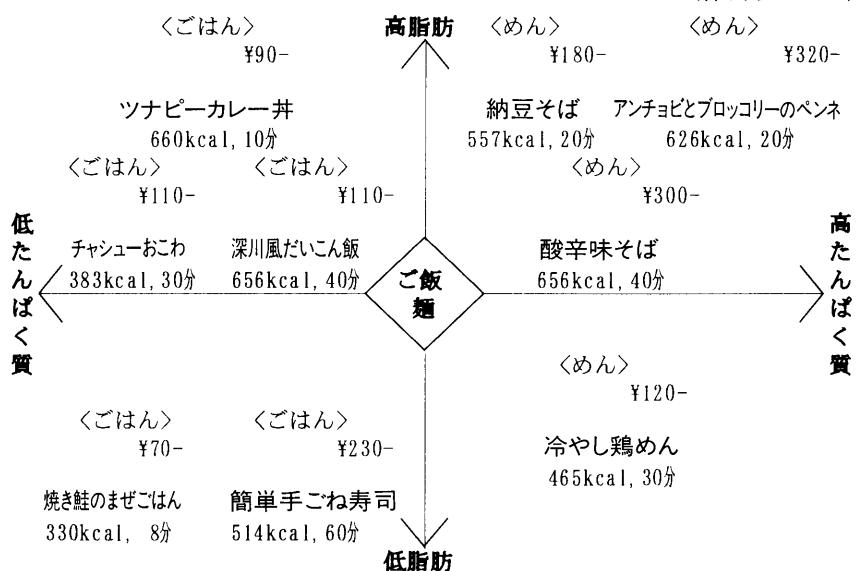
(作り方 P112)



(作り方 P113)



(作り方 P114)



豚肉料理

献立	材 料	作 り 方
豚肉	豚もも肉70g 醤油めり1/2 酒めり1/6 玉ねぎ30g ニンジン:ゆで竹の子各20g 干し椎茸1枚 グリビーフ(ゆで)大さじ1/2 サラダ油大さじ1/2強 a:スープ大さじ2 酢・砂糖各大さじ1 醤油めり1/5 強 塩めり1/5 パリ・リップ(タッパー)めり2/3 b:片栗粉大さじ2/3 水めり3/5	① 豚肉は醤油と酒をまぶして下味をつける。 ② 玉ねぎは横形に切る。人参と玉ねぎは乱切りにし、人参は3~4分ゆでる 干しいたけは水でもどしてそぎ切りにする。 ③ サラダ油を熱して豚肉を炒め、肉に火が通ったら野菜を加えて炒め、aを 加えでトロミをつけ、グリビーフを散らす。
豚肉と大根の煮もの	豚ヒレ肉60g 大根80g みじん切り50g サイレーズ2本 だし汁 醤油めり2/3 砂糖めり1/3 酒めり1/2	① ヒレ肉は3cm角に切る。大根は3cmのいちょう切りにし、こんにゃくは 3cm角に切って下ゆでする。 ② 錆に①を入れ、ヒタヒタのだしと調味料を加えて30分煮、ゆでたサイレーズ を散らす。
豚肉のナベツの味噌炒め	薄切り肉50g ナベツ100g ねぎ・しょうゆ・ニンニク各少々 サラダ油 a:醤油・酒各めり1/4 b:赤味噌・酒各めり1 砂糖・醤油各めり1/4 豆板醤少々	① 豚肉は一口大に切り aをからめてしばらくおき、下味をつける。 ② ナベツは大きめのざく切りにし、ねぎは斜め切りにする。しょうが・ニン ニクは薄切りにする。 ③ bの調味料を小さい器に入れ混ぜる。 ④ 中華鍋にサラダ油めりを熱し、ねぎ、しょうが、ニンニクを香りが出るまで炒 め、豚肉をいれて色が変わるまで炒める。 ⑤ サラダ油めりをたし、ナベツがしなりとしたら③を加えて混ぜ、強火で さっとからめて仕上げる。
八宝菜	豚薄切り肉35g 白菜20g 筍(ゆで)15g わけぎ10g ニンジン10g いはが少々 a:酒・醤油各めり1/2 片栗粉めり1/4 b:酒めり1 醤油めり1/2 砂糖めり1/4 塩 サラダ油めり	① 豚肉は一口大に切り、aをふって軽くもみ込み、下味をつける。 ② 白菜は一口の大のぞぎ切りにし、筍は薄切りにし、わけぎは4cm長さに切る ニンジンは短冊切りにしてさっと塩ゆでし、水にとってから水気を切っておく。 ③ 中華鍋にサラダ油めりを熱し、白菜、筍、わけぎの順に強火で炒める。 ニンジンを加えてさっと炒め合わせ、塩少々をふって調味し取り出す。 ④ ③の鍋にサラダ油めりをたし①の豚肉としょうがを炒める。 肉の色が変わった④の野菜を戻し入れ、bを加え野菜の歯がたえが残る程 度に炒め合わせる。
豚ヒレ肉の 炒め	豚ヒレ肉150g レモン1/6個 片栗粉めり2/3 サラダ油めり1 a:酢・黄身大さじ1 酒めり1/3 ニンニク・油・砂糖各めり1/4 b:粉・サラダ油・ごま油各めり1/2 塩・胡椒・五香粉各少々	① 豚肉は1cmのぞぎ切りにし、ニンニクはすり下ろす。 ② ④にaの材料を合わせて肉を入れ、時々上下を返して40分ほど漬け、 片栗粉を加えてよく混ぜ合わせる。 ③ 中華鍋にサラダ油めりをなじませ、②の肉を一切れずつ並べ、中火で両 面を色よく焼き、火を弱めて中まで火を通したら皿に盛りつけ、くし形 に切ったbを添える。
ズバリ	豚スペアリブ125g 揚げ油 ニンニク少々 花椒めり1/2 赤唐辛子1/2本 香葉10g a:醤油めり1/2 酒めり1 b:酢めり1/4 砂糖めり1/4 醤油・酒各めり1	① ズバリは力を合わせた中に入れ10分ほど漬け下味をつける。 ② 揚げ油を120℃に熱し、ズバリの汁気を拭いて入れ、完全に火が通るま でじっくりと揚げる。 ③ ②の揚げ油をあけ、錆に少し残った油でニンニク、花椒、赤唐辛子の順に炒 める。 ④ 揚げたズバリを入れbを合わせて回しかけ、強火で汁気をとばし器に盛 り、香葉を添える。
野菜・カレー	豚薄切り肉100g 万能ねぎ15g グリーンピース50g ニンジン40g 酒・マヨ・サラダ油各めり1/4 醤油めり1 胡椒少々	① 豚肉は調味料を合わせた中に10分ほど漬け、下味を漬ける。 ② ブルーパンは、根元の方の皮をむく。 ③ ニンジンは千切りにし、万能ねぎは12cmの長さに切る。 ④ 豚肉の汁気をきって広げ、②③をそれぞれ芯にして細く巻き付ける。 ⑤ 熟した焼き網に④のせ、ころがしながら10分ほど焼き、半分に切って 盛りづける。
肉団子	豚挽肉100g 楠 しじみ汁 酒・醤油各めり1 だし1/4カブ 片栗粉めり1/3 醤油めり2/3 砂糖・片栗粉各めり1 ゆで野菜(サイレーズ・甘藷など)	① 肉団子の材料を合わせ、粘りが出るまで良く混ぜ、団子に丸める。 ② ①を蒸し器に並べ中に火が通るまで約10分蒸し、器に盛る。 ③ だしを調理して煮立て、水解き片栗粉でとろみをつけ②にかける。 ゆで野菜を添える。
ボトフ	豚ヒレ肉60g 人参30g 玉ねぎ1/4個 じゃが芋1/2個 ブロッコリー2房 スープ1カップ 塩めり1/4 マドード	① ヒレ肉は塊のまま糸状で形を整えて縫り、スープで30分ゆでアヒを除く。 ② じゃが芋、人参は食べやすい大きさに、玉ねぎは櫛形に切って①に加え 柔らかく煮る。 ③ ゆでたアヒを加えて塩で味を調える。
豚肉のトマトコン 煮込み	豚肩ロース75g 玉ねぎ1/4個 ドト1/2個 グリーンピース2本 ホウレンソウ20g ニンニク少々 カリ・パセリ(缶詰)20g リーフエス1/2 バターダシ1/2 サラダ油めり1/4 ウスターソース・スープの素 パン粉めり2 塩・胡椒各少々	① 豚肉は3cm角に切り、塩・胡椒をする。玉ねぎは薄切り、ニンニクはみじん 切り、ドトは皮をして種を取り、粗みじん切りにする。 アヒ・ガスは要めの塩ゆでにして、5cmの長さに切る。 ② 平鍋にサラダ油を熱して豚肉を入れ、表面に焦げ色が付くまで焼いたら玉 ねぎとニンニクをえて炒める。 ③ 第1/2カップに溶いたスープの素と白ワインを入れて強火で煮立て、火を弱めて あくを取り、ホウレンソウを加えて15分ほど煮る。カリ・パセリ・トトを加えてさら に15分ほど煮、ウスターソース・塩・胡椒で味をととのえる ④ 最後にパン粉を混ぜ、アヒ・ガスとバターをのせる。

牛肉料理

献立	材料	作り方
牛肉とセロリの炒め物	牛もも肉50g セロリ2本 ニンジン30g ニンク少々 油大さじ1/2 a:酒・片栗粉各半大さじ1/2 醤油大さじ1/3 b:醤油大さじ2/3 酒大さじ1/3 オイスター・ソース・塩・砂糖少々	①牛肉は細切りにしてaをからめて下味をつける。 ②セロリ、ニンジンは7~8cm長さのせん切りにする。ニンクは2つ切りにしてたたく。 ③bの調味料を合わせておく。 ④中華鍋に油大さじ2を熱して①を炒め、色が変わったら取り出す。 ⑤油大さじ1/2でニンクを炒めて香りを出し、セロリ、ニンジンを炒め、④をもどして混ぜし、③を加えて味をからめる。
薄切り肉とキーパーの炒め	牛筋50g キーパー75g ピーマン20g サバ油大さじ1、塩少々 a:酒大さじ2 サラダ油大さじ1/4 醤油・塩・胡椒各少々 ニンクの薄切り1枚 ル・粉1/2	①牛筋は一口大に、キーパーは大きめの一口大に、ピーマンは細目の短冊切りにする。 ②中華鍋にサバ油大さじ2を熱し、キーパーとピーマンを入れて強火で炒め、塩少々をふって混ぜ、全体に油が回ったら取り出す。 ③サバ油大さじ1/3を熱し、ニンクと牛筋を強火で炒め、肉の色が変わったらaを加て混ぜる。キーパーとピーマンを戻し入れ、手早く炒め、ル・粉をふって混ぜ合わせる。
牛肉とアロコリーのオイスター炒め	牛肉50g アロコリー75g 牛ノコ類50g ピーマン50g 醤油 サバ油 塩 砂糖 酒 a:重曹・ペッキング・パウダー各少々 砂糖大さじ1/2 水大さじ1/2 酒・片栗粉各半大さじ1/2 b:オイスター・オイル大さじ2 水大さじ1/2 醤油・片栗粉各半大さじ1/4 砂糖・コマ油・胡椒各少々	①ドウルへの材料を合わせ、牛肉を一口大に切って混ぜ、1時間ほどおいてから醤油大さじ1/2、油大さじ1を混ぜる。 ②ペッキングは洗って水気をきっておく。 ③bの材料を小さい器に合わせる。 ④アロコリーは小房に分け、茎は皮をむいて斜めに切る。中華鍋に油小さじ1を熱してブロッコリーを炒め、塩・砂糖・酒を少々、水大さじ1を加え強火で硬めに煮しめにし、ざるに上げて水気を切る。 ⑤水大さじ1を熱して①の牛肉を八分通り炒めて出す。油小さじ1で②を炒め、④と牛肉を戻して③を加え、味をからめる。
ボルシチ	牛もも肉100g 塩 胡椒 スープ1カップ トマトケチャップ大さじ1弱 サバ油大さじ1弱 半玉ねぎ40g 人参30g 玉ねぎ40g セロリ20g	①牛もも肉は胡椒と塩をまぶしスープで1時間煮込む。油、あくを取り除く。 ②キーパーは、大きめのざく切りにし、玉ねぎは櫛形に切る。人参は乱切り、セロリはすじを取り除いて斜め切りにする。 ③①の鍋にトマトケチャップと野菜を加え、アツを取りながら煮込み、柔らかくなったら塩で調える。
たたき	牛もも肉70g 塩胡椒 サバ油大さじ1弱 レタス・きゅうり各20g クリン・ラン・ライ・レシ各5g ドレッシング大さじ2/3	①牛もも肉は塊のまま塩、胡椒する。 ②フライパンに油を熱し、強火で表面を焼く。 ③冷めたら薄く切り、野菜と彩りよく盛る。
チンジャオロース	牛もも肉70g 醤油大さじ1/3 酒大さじ3/5 片栗粉大さじ1/3 ビーフ50g ゆで竹の子20g しょうが少量 サバ油大さじ1/2 塩大さじ1/4	①牛肉は千切りにし、醤油と酒で下味をつけ、片栗粉をまぶす。 ②ビーフと竹の子は千切りにし、しょうがはみじん切りにする。 ③フライパンでサバ油を熱してしょうがを炒め、牛肉を加える。肉の色が変わったらビーフと竹の子を加えて炒め、塩で調理する。
肉野菜炒め	牛もも肉70g キーパー50g 玉ねぎ30g 人参10g 生椎茸20g サバ油大さじ2/3 塩大さじ1/3 醤油大さじ弱	①牛肉は一口大に切る。 ②キーパー、人参は短冊切り、他は薄切りにする。 ③フライパンに油を熱して牛肉、野菜を炒め、調味する。
べっこう煮	大根30g 牛肉40g 砂糖大さじ2/3 醤油大さじ1/2	大根を一口大の乱切りにしてひたひたのだしで煮、半ば煮えたところ、牛丼、砂糖、醤油を加え、味がしみるまで煮る。
牛肉のサラダ	牛もも肉70g トマト50g キーパー・貝割れ菜・ニンク・しょうが・あさつき各少量 a:醤油大さじ2/3 砂糖大さじ1/3 酢大さじ1	①牛肉はゆでて水にとり、よく水気を切っておく。 ②トマトを横幅に切り、水で戻し霜降りにしたキーパーは一口大に切り、貝割れ菜は根を切る。 ③ニンク・しょうが・あさつきはみじん切りにし、aと合わせておく。 ④②を③である。
牛肉のチーズフライ	牛肝切肉80g 生パン粉1/2カップ チーズ大さじ1.5 卵1/4個 レタス1枚 バゲット適量 塩 胡椒 小麦粉 揚げ油	①パン粉を1/2に入れて、チーズとパン粉のみじん切りを混ぜる。 ②牛肉は1枚ずつ広げて半分に折り、塩・胡椒をして小麦粉を薄くまぶし溶き卵、①のパン粉の順に重ねる。 ③フライパンに揚げ油を2~3cmの深さに入れて中温(170℃)に熱し、②を入れて両面がキツネ色になるまで上げる。油の量が少ないで揚げ焼きの要領で肉の周囲を箸で軽く押さえるようにして揚げ、網にとって油をよく切る。 ④キーパーのみじん切りを少々ふり、レタスとバゲットと共に盛る。
牛肉の天ぷら パプリカ風味	牛赤身肉(薄切り)80g 醤油大さじ1/2 グリーンペッパー1/4束 a:卵1/4個と水を合わせて40cc 小麦粉大さじ2 パプリカ 揚げ油	①牛肉は4~5cm長さに切り、醤油をからめて下味をつける。 ②アスパラガスは根元の堅い部分を切り落とし、堅いはかまをそぎ、5~6cm長さに切る。 ③aの卵をほぐして冷水と混ぜ、小麦粉を加えてさっくりと切るように混ぜ合わせる。 ④アスパラガスに③を薄くつけ、高温(180℃)に熱した揚げ油で色よく揚げる。 ⑤③にパプリカ少量を混ぜ、汁気を切った牛肉を入れて手早くからめ、高温の油でからっと揚げる。揚げたてにパプリカ少々をふり、④と盛り合わせる。

鶏肉料理

献立	材料	作り方
揚げ鳥と 焼き豆腐の 煮き合わせ	鶏さ身1.5本 焼き豆腐75g 青菜75g a:だし汁50cc 酒・みりん各大さじ1 砂糖・醤油各大さじ1	①ささ身は薄皮と筋を取り、一本を4つのそぎ切りにし、塩と酒各少々をふって5分ほどおく。 ②①の汁気を軽くさし小麦粉をまぶし、揚げ油でゆっくりと火が通るまで揚げ、油を切つておく。 ③焼き豆腐は6つのやっこに切る。青菜は塩ゆでし、水に取つてから水気を絞り、3~4cm長さに切る。 ④鍋にのだし汁と調味料を合わせて煮立て、焼き豆腐を入れて中火で4~5分煮、揚げたささ身をいれてさらに3分煮る。 ⑤焼き豆腐とささ身を器に盛り合わせ、青菜を汁に浸して味を含ませてから添える。
とりの きじ焼き	鶏もも肉100g あさつき もみのり サダ油大さじ1 a:砂糖大さじ1/2 みりん大さじ1 醤油大さじ1	①鶏肉は余分な脂肪を切り取り、皮をフローティングで刺して穴をあけ、一口大に切る。 ②フライパンに油を熱し、①の鶏肉を入れて強火で表面aを合わせておく。 ③鶏肉から出た脂を紙巾でふき取りaのたれを入れ、弱火にしてふたをし10分ほど煮し焼きにする。 ④鶏肉に火が通つたらふたをはずして再び火を強め、フライパンをゆすりながらたれを煮つめる。 ⑤器に盛り、もみのり、あさつきなどを添える。
ささみの 片・ねのかた のせ	鶏さ身2本 玉ねぎ10g わたり20g トマト20g ピーマン15g 洋芋15g コンクルタ 塩、胡椒、サダ油 a:醤油大さじ1 みりん大さじ1 だし汁50cc 酒大さじ1/2 塩・片栗粉各少々	①ささ身の筋をとり、塩、胡椒をする。 ②コンクルタは薄切りにする。玉ねぎ、ねぎ、ねり、トマト、ピーマンは1cm各に切る ③フライパンに油を熱してニンニクを炒め、香りが出たら①のささ身を入れて両面を炒め取り出す。 ④③のフライパンに1cm各に切った野菜を入れて炒め、aの材料を加え、とろみをつけソースとする。
鶏肉の エニッキ風	鶏胸肉・鶏もも肉各50g ピーマン30g イカ墨1/2個 松の実大さじ1/2 塩 胡椒 油・バター少々 a:砂糖大さじ1 醤油大さじ1 ラ・油・レモン数滴	①鶏肉は大きめの一口大に切り、まんべんなく塩、胡椒をふっておく。 ②ピーマンはへた・種を除き、5mm角の粗みじん切りにする。イカ墨はみじん切りにする。 ③ほかにaの材料を入れてよく混ぜ、ピーマンとイカ墨を加えて混ぜ合わせる ④松の実はフライパンでから入りする。 ⑤フライパンに油・バターを熱し、①の鶏肉を皮を下にして並べて焼き、程良い焼き色がついたら裏返し、同様に焼き色を付け、やや火を弱めて中まで火を透す。 ⑥皿に盛つて③のソースをかけ、炒った松の実、粒胡椒を散らし、粗挽き胡椒をふる。
治部煮	鶏胸肉70g 醤油・酒各大さじ1/2 人参・うど・ブロッコリー各30g 小麦粉大さじ1/3 a:だし汁1/4カップ 醤油・みりん各大さじ1	①鶏肉は一口大のそぎ切りにして醤油・酒で下味をつける。 ②人参は5mm厚さの輪切りにして下ゆでし、ブロッコリーも堅めにゆでておく うどは4cmに切る。 ③aを煮立て粉をまぶした肉を入れ火を通して取り出す。残りの汁で②を煮て盛り合わせる。
酒蒸し鳥	鶏胸肉70g 塩 酒各大さじ1/2 ゆで竹の子・人参・ねぎ・ 竹の子・干し椎茸各7g	①鶏肉を皿にのせ塩と酒をふる。 ②野菜もどした椎茸は千切りにする。 ③①の肉の上に②を彩りよくのせ、蒸氣の立つた蒸し器に入れ焼く10分蒸す。(ワッフルをかけ電子レンジで加热しても良い)
ホイル焼き	鶏胸肉70g 塩 酒各大さじ1/2 ブロッコリー・しめじ各20g ねぎ・レモン各適宜	①鶏肉は大きめのそぎ切りにし、塩と酒をふって下味をつける。 ②ブロッコリーは堅めにゆで、しめじは小房に切り分け、ねぎは千切りにする ③ホイルに薄い油を塗って鶏肉を置き、②をのせて包みオーブン・グリルで焼く10分焼く。
チキンの クリーム煮	鶏もも肉(皮なし)100g 塩 胡椒 小麦粉大さじ1/2強 サダ油大さじ1/2強 人參30g 味みみどり大さじ1/2/3 水適宜 牛乳80cc(水80cc) 塩 バター大さじ1/2 甘いケン10g 生しいたけ2枚 サダ油大さじ1/4	①鶏肉に塩、胡椒をふって小麦粉をまぶしサダ油で両面を焼く。 ②牛乳又は水に溶いた味みみどりを①に加え、煮立つたら弱火にして煮込み、塩で調理する。 ③人參でガラスを作り、椎茸とゆでた野菜は炒めにする。 ④鶏肉は煮汁も一緒に器に盛り、③を添える。
チキンの トマト煮	鶏胸肉・鶏もも肉各50g トマト100g 玉ねぎ50g ニンクル片 ケチャップ大さじ1 バターガルバンゾウ バター サダ油 塩 胡椒 砂糖	①鶏肉に塩、胡椒をふる。トマトは皮を湯むきにして種を取り除き粗みじん切りにする。玉ねぎ、ニンクルはみじん切りにしておく。 ②鍋にバター・サダ油・油を大さじ1を熱し、鶏肉を入れ焼き色をつけ取り出す。 ③②の鍋にサダ油大さじ1をたしてニンクルを炒め、香りが立つたら玉ねぎを加え弱火でできね色になるまでゆっくりと炒める。 ④トマト、トマトケチャップを順に加えてさらに炒め、バターガルバンゾウを加えてひと混ぜし、鶏肉を戻して20~30分煮込み。 ⑤塩・胡椒・砂糖で味をととのえ、器に盛る。

魚料理

献立	材料	作り方
ツナと ジャガの パイ・焼き	ツナ缶1/4缶 ジャガイモ1個 チーズ25g 油大さじ1/2 海苔・ゴマ・塩・胡椒各少々	①は油を切り、ざるにあけてほぐす。ジャガイモは皮をむいて手早くおろし、塩・胡椒・ゴマを加え、きざんだ海苔・角切りチーズも加える。 ②パイパンに油を熱して①を流し入れ、焼き色がついたら火を弱めてふたをし、5分ほど蒸し焼きにして裏を返す。 ③両面がこんがり焼けて中まで火が通ったら取り出して器に盛る。
アジと野菜の バタ・焼き	アジ100g 生椎茸2個 マッシュルーム4個 アスパラガス20g ベーコン・マッシュルーム・玉ねぎ各15g 白ワイン・小麦粉・油各適宜 バタ・オリーブオイル1/2 塩・胡椒各少々	①アジは3枚におろし、塩・胡椒をして小麦粉を薄くまぶす。 ②生椎茸は軸を取って四つ切りにし、マッシュルームは半分に切る。ベーコン・マッシュルーム・玉ねぎは細かく刻み、アスパラガスは塩ゆでし3cmの長さに切る。 ③サバ油で玉ねぎ・マッシュルームを炒め、塩・胡椒・白ワイン各少々で調味する。 ④パイパンにバタ・オリーブオイルを熱し、①のアジを入れて両面に焼き色をつけ、火が通ったら皿に盛る。 ⑤パイパンにオリーブオイルをたして刻んだベーコン・ニンニクを炒め、③を加え塩・胡椒で調味し、それをつぶつぶしてリソゴンにかける。
鰯ハンバーグ	鰯(すり身)100g 油 大根おろし適宜 醤油少々 a:ズッキーニ15g 酒大さじ1 卵5g ソーセージ・醤油・塩・少々	①鰯のすり身にaを加えてよく混ぜ合わせ、小判型に整える。 ②パイパンで油を少し熱して油少々をなじませ、①をいれて両面を色よく焼き、ふたをして弱火で2~3分ほど蒸し焼きにする。 ③皿に盛り、水気を軽くした大根おろしをのせ、醤油をたらす。
ひらめの 五目炒め	ひらめの切り身50g ねぎ25g ハム10g 生椎茸10g ズッキーニ10g ピーマン10g a:酒大さじ1 塩・胡椒各少々 b:スープ大さじ1/2 片栗粉大さじ1/4 水・砂糖各少々 塩・胡椒各少々	①ひらめは皮を除き1cm各に切り、aをからめ、片栗粉をまぶす。ハム・生椎茸・ねぎ・ピーマン・ハムも1cm各に切る。 ②油を中華鍋で熱し、①をさっと油通しをして油をきる。 ③ズッキーニは斜め切りにして油で香りよく炒め、②を戻して中火で炒め合わせよく混ぜ合わせたbを加えて手早く混ぜ合わせる。
白身魚の 簡単グラタン	白身魚75g 玉ねぎ25g ビーフ20g 赤ビーフ20g 生椎茸20g ほうれん草20g 白ワイン少々 マヨネーズ15g ビザ用チーズ20g ゴルゴンゾーラ切り バターカレル1 塩・胡椒各少々	①白身魚は塩・胡椒をふる。玉ねぎは薄切り、ビーフ・赤ビーフ・生椎茸は1cm角に切る。ほうれん草は塩ゆでし、細かく刻む。 ②パイパンにバターカレルを熱して魚の両面を色よく焼き、白ワインをぶり、ふたをして2分ほど蒸し焼きにして耐熱皿に並べる。 ③バターカレルに玉ねぎ、ビーフ・マッシュルームの順に炒め、これにほうれん草、マヨネーズを加えてよく混ぜ②のせる。 ④チーズとバターを散らし、250℃のオーブンで15分焼く。
かきの 味噌いため	かき(むき身)100g 塩・片栗粉少々 ニラ20g ビーフ20g 玉ねぎ20g ニンニク・赤唐辛子各少々 酒大さじ1 ゴマ油少々 a:赤だし・味噌大さじ1 砂糖・酒・醤油各少々	①かきは塩水で洗いして水気をきる。 ②ニラは3cmに切り、ビーフは千切りにする。ズッキーニは薄く斜め切りにする。 ③ズッキーニの材料を入れて味噌を溶きのばす。 ④パイパンに油とニンニク・唐辛子を入れて熱し、片栗粉を薄くまぶしたかきを入れ、両面に焼きいろをつけて取り出す。 ⑤野菜を入れてさっと炒め、④のかきを入れて酒・③の調味料を加えて混ぜ合わせる。最後にゴマ油をふり入れる。
お刺身サラダ	お刺身盛り合わせ1人前 ねぎ25g 青じそ3枚 白ズッキーニ10g 青ズッキーニ10g 貝割れ菜15g a:醤油がり1 酢・ドレッシング・豆板醤・砂糖少々 ニンニク・ショウガ各適量	①お刺身・青じそは千切りにする。白ズッキーニは5cmの長さに切って開き、白ズッキーニにする。青ズッキーニは小口切りにし、貝割れ菜は根を切り落とす。 ②ざるにaの調味料を合わせてよく混ぜる。 ③②の材料に刺身を入れてよく混ぜ味をなじませ、ねぎ・青じそ・青ズッキーニを加えおおざっぱに混ぜ合わせ、器に盛る。 ④上の上に白ズッキーニをのせる。 ⑤おまけにはキザシ・バーレーなどで水気をよくふきとる。 ⑥耐熱用の器に刺身をのせ、塩・胡椒をふる。さらにトマトピューレをぬってビザ用チーズをのせる。 ⑦②を200℃のオーブンに入れ約10分焼く。
丸ねりの チーズ焼き	かじきまぐろ1枚(100g) 塩・胡椒各少々 ドマーブルチーズ1 ビザ用チーズ30g	①鰯はキザシでよく洗い、食べやすい大きさに切る。キザシは大きめのざく切りにする。ショウガは千切りにする。 ②鍋にたっぷりの湯を沸かし、キザシ・鰯の順にさとくぐらせて湯をきる。 ③鍋に油を熱し、ショウガの千切りを炒め、香りが出たら、②でゆでたキザシ・鰯・鯛の順に入れて炒め、酒と砂糖を加える。 ④醤油とだし汁を加減しながら加え煮上げる。
えびと大根の あんかけ	ゆでえび40g 大根25g 卵25g 片栗粉各少々1/2 a:水75cc 塩少々 酒大さじ1/2 ショウガの薄切り2枚	①ゆでえびは殻をむき、大根は皮をむいて1cmの厚さのいちょう切りににする。 ②①の大根は水からゆで柔らかくなったらゆで汁を捨てる。ここにaを加え、さらに①のえびを加えて5~6分ゆで、器に盛る。 ③残った煮汁を火にかけ、煮立ってきたら水溶き片栗粉を加えてとろみをつけ、さらに溶き卵を流し入れる。ふたをして1分ほど煮てから火を止め②の上にかける。
白菜とタラの コンソメ煮	白菜の葉1/2枚 ニンジン30g のりの切り身1枚 塩・胡椒少々 水200cc スープの素 ローリエ バジル	①白菜はさっとゆで、ざるにあげておく。ニンジンは7mmの輪切りにする。 ②タラはキザシ・バーレーなどで水気をふき塩・胡椒・①の白菜で包む。 ③鍋に水・スープの素・ローリエを煮立て、①のニンジン・②の白菜巻きを入れ、ふたをして中火で10分煮た後、味を見て塩・胡椒で調味する。

豆・乳類の料理

献立	材 料	作 り 方
あんかけ 豆腐	人参・ゆで竹の子・しいたけ・さやえんどう各10g 木綿豆腐75g さらしねぎ 片栗粉各1/2 a:醤油大さじ1/2 酒・みりん各少々 b:醤油大さじ1/2 酒・みりん各少々 砂糖大さじ1/2 しょうがかけ汁1/2	①ニンジン・ゆで竹の子・しいたけ・サヤエンドウをそれぞれしたゆでしておく。 ②鍋に豆腐を並べてだし汁をひたひたに注ぎ、aを加えて煮立て、弱火でさらしねぎを10分煮る。 ③②の煮汁(約30cc)をこしとり、①を加えてゆで、さらにbを加えて、煮立て、倍量の水で溶いた栗粉でとろみをつけ②にかけ、ねぎを添える。
くずし豆腐と挽肉の蒸し物	木綿豆腐70g 猶焼肉40g ねぎ10g 生椎茸20g 酒各少々 塩・醤油・みりん・酒各適宜	①ねぎは縦半分に切って薄切りにする。ざるに豆腐を入れて手でつぶし挽肉を加え混ぜる。 ②ねぎと椎茸、酒、塩を加えて手でよく混ぜる。 ③耐熱容器に入れてラップし電子レンジで5~6分加熱する。 ④盛り出しても油を回しかけ、お好み油をのせる。
高野豆腐のひき肉詰め	高野豆腐1枚 猶ひき肉25g ニンジン1cm ピーマン1/4個 生タケノコ1個 片栗粉少々 三つ葉 a:卵1個 パン粉大さじ1 塩少々 片栗粉各1/2 b:だし汁1/2強 醤油大さじ1/2 砂糖大さじ2 みりん・酒各少々 塩少々	①高野豆腐は戻して水気を絞り、厚みの中央に包丁を入れ、両端1cmを残して向こうに包丁を通す。 ②ニンジン・ピーマン・ねぎ・タケノコはみじん切りにし、ひき肉とaを混ぜ合わせ、①の内側に片栗粉少々をまぶした中に詰める。 ③bの材料を煮立てて②を煮て火を通し、半分に切って三つ葉を添える。煮汁をこし、水溶き片栗粉でとろみをつけてかける。
ちりめんやっこ	豆腐70g 万能ねぎ20g しょうが酢漬け5g ちりめんじゅう20g ダマ油大さじ1/2 醤油かけ	①豆腐は角切りにする。 ②小口切りにした万能ねぎと、しょうがのみじん切りをちりめんじゅうと共にダマ油でさっと炒め、醤油を加え、盛った豆腐の上にかける。
簡単茶碗蒸し	卵1/2個 牛乳125cc スープの素・塩・胡椒少々 貝刺れ菜・梅肉適宜	①ざるに卵、牛乳、スープの素、塩、胡椒を入れよく混ぜ一度こす。 ②電子レンジにはいる深めの器に①を入れラップでふたをする。 ③電子レンジに入れて6~8分加熱する。 ④貝刺れ菜の根元を基って散らし、梅肉をのせる。
千草焼き	卵1個 猶焼肉25g ニンジン10g 鮭味噌7g めじかかけ味噌7g ねぎ5g 油適宜 a:酒・みりん・砂糖 各大さじ1/2 薄口醤油かけ	①ニンジンはみじん切り、きぬさやは筋を取ってさっとゆでた後、みじん切りにする。 ②ざるに焼肉・①の野菜・カツオ・ねぎを合わせてよく混ぜ、aで調味する。 ③卵を溶きほぐして②に加え、泡立てないように静かに混ぜ合わせる。 ④フライパンを熱し、油を多めに流してなじませた後、余分な油を拭き取って③の卵汁を全部流して大きくかき混ぜながら半熟に焼く。 ⑤内側に油を薄く塗った15~16cm角の型に④の卵を入れて平らにする。 ⑥200℃に熱したオーブンで⑤をキツネ色になるまで焼く。粗熱がとれたら型からだし、食べやすく切って盛り合わせる。
野菜いっぱいのプラン	卵1個 ブロッコリー30g リーゼン20g グリーンカブ20g アチドマ2個 ほうれん草20g a:生クリーミングルース 牛乳30cc 塩・胡椒各少々	①ブロッコリー・アチドマは食べやすい大きさにし、塩で味付けておく。ほうれん草は油揚でした後4cmの長さに切って、水をきっておく。リーゼンは1.5cmの厚さに切り、アチドマはへたを取る。 ②ざるに卵を溶きほぐしてaを加えて混ぜる。 ③耐熱容器に①を入れて②を流し入れ、200℃のオーブンで40~50分焼く。
かに玉	卵75g かに缶20g 玉ねぎ15g 干し椎茸1枚 ゆで筍25g バゲののみじん切り少々 塩・うまみ調味料少々 酒かけ a:醤油・酢・砂糖各大さじ1/2	①筍は斜め切りし、干し椎茸は戻して千切り、筍も千切りにしておく。 ②卵は溶きほぐし、塩・うまみ調味料で調味する。 ③中華鍋に油大さじ1/2を熱して椎茸、筍、かにの順に炒め合わせ、醤油、酒各小さじ1/4、胡椒少々で調味して②に加える。 ④中華鍋に油大さじ1/2を熱して③の卵を流し入れ、箸で手早くかき混ぜ下餃が固まってきたら手早く返してさっと焼き、器に盛る。 ⑤甘酢あんの材料を合わせて一煮立ちさせ、とろみがついたら④のかに玉にかけ、バゲのみじん切りをふる。
納豆サラダ	レタスサラダ40g 青じそ2枚 納豆25g 塩・胡椒 a:マヨネーズ 大さじ1/3 醤油かけ	①レタスサラダは葉を手でちぎる。ニンジンは千切りにし、青じそは縦半分に切つから、3cm巾に切り、それぞれ器に盛る。 ②ざるに納豆を入れaを加え、よく混ぜ合わせて①にかける。
ボーロー・ソース	白イモ(ゆでたもの)80g 猶ひき肉20g 玉ねぎ25g ピーマン20g ニンジン適宜 バトーニ油かけ1各 リハーサウ・カベイ a:マヨネーズ 大さじ1/2 醤油かけ	③玉ねぎとピーマンは粗いみじん切りにする。ニンジンは包丁の腹でつぶし、細かく刻む。 ④鍋にイモ・リハーサウ・油を熱して玉ねぎ・ニンジンを弱火の中火で炒める。ピーマンも炒め合わせ全体が茶褐色になったら、豚肉を加えて強火で炒め、リハーサウを振り入れてaを加えて煮る。 ⑤イモとそのゆで汁を加えて中火で煮詰め、塩で味を調える。
西京味噌と牛乳の冷やし汁	牛乳1/2カップ 西京味噌大さじ1/2 だし汁1/2カップ アチドマ1個 あさつき 適量	⑥鍋にだし汁を入れて煮立て、西京味噌を溶き入れ、すぐに火を止める。 ⑦①を鍋ごと水に当ててさし、冷たい牛乳を加えて混ぜる。 ⑧アチドマは薄切りにし、あさつきは小口切りにする。 ⑨アチドマが溶えたたら器に注ぎ、アチドマとあさつきを加えて冷たく供する。
カボチャのミルクスープ	がく75g カラ15g だし汁1/2カップ 牛乳1/2カップ 味噌かけ1	⑩がくは皮ごと1cm角に切り、カラは1cm幅の小口切りにする。 ⑪だし汁を鍋に煮立ててがくを煮、柔らかくなったらカボチャを加えて牛乳を注ぎ、味噌を溶く。

丼物・ご飯・麺類

献立	材料	作り方
深川風 たいこん飯	米140g・大根40g・大根の葉適量 アリ muき身30g・油揚げ1/2枚 だし汁または水140g a:醤油がり2・酒がり1.5 みりんがり1/2・塩少々	①米は炊く30~40分前に洗い、ざるに上げておく。 ②大根は3~4mm厚さで1cmの角切りにし、大根の葉は色良くゆでて小口切りにする。 ③アリは塩水の中で振り洗いし、流水で洗って水気を切る。 ④油揚げは熱湯をかけて油抜きし、8~9mmの角切りにする。 ⑤炊飯器に①の米とだし汁を入れ、a. 大根、アリ、油揚げを加えてスイッチを入れ、炊きあがったら大根の葉を混ぜる。
簡単 手こね寿司	ご飯ドリップ杯・鋼(刺身用)80g ・青じそ3枚・生姜5g・レモン1/3個 醤油がり1・煎り白ゴマ少々	①鋼は7~8mm厚さにそぎ切りにし、醤油を全体に絡めて時々混ぜ、15分ほどおいて下味を付ける。 ②青じそ、生姜は千切りにして水にさらし、水気を切る。 ③レモンをしぶる。 ④ご飯に汁気を切った鋼と②を加えて③を回しかけ、さっくり混ぜる。白ゴマをふる。
チキン・おこわ	もち米1/2カップ・焼き豚2枚・ 干し椎茸(小)2枚・キララ少々・ ギンナン粒・松の実少々・三つ葉 a:薄口醤油がり2・酒・みりん各 だい1/2・ゴマ油がり1・砂糖がり 1/2・塩少々	①もち米は洗ってざるに上げ、良く水を切って耐熱容器に入れ、調味料に水を加えて1/2カップにして注ぎ、1時間おく。 ②焼き豚は1枚を3~4に切る。 ③干し椎茸は水につけて戻し、細切りにする。キララも水につけて戻し、一口大に切る。 ④ギンナンは殻から出し、ひたひたの水でゆでながら薄皮を向く。 ⑤①に③を加え、味を見て薄ければ塩で調味し、容器のふたをして電子レンジで4分加熱する。 ⑥⑤に焼き豚、ギンナン、松の実を加えてひと混ぜし、ふたをして再び1分加熱。炊き上がったたら全体を混ぜ合わせ、器に盛って三つ葉をあしらう。 ⑦甘塩鮭は焼き網でこんがりと焼き、骨と皮を除いて身をほぐす。 ⑧生姜は刺身用に、沙羅は荒みじんに切る。 ⑨熱いご飯に①と②をさっくりと混ぜ、器に盛る。
焼き鮭の 混ぜご飯	甘塩鮭1/2切れ・ご飯160g・沢 渡10g・生姜3g	①サバ缶は油を切り、粗めにほぐしておく。 ②マツタケは縦半分に切って種を取り、細切りにする。 ③タマネギは薄切りにする。 ④ワカメにサバ油を煮してタマネギとビーマンを炒め、しんなりしたら①のサバ缶を加え、サッと炒め合わせる。 ⑤④にル・粉・醤油・粗挽きコショウを加えて調味し、全体をよく混ぜて器に盛ったご飯の上にのせる。
アンチョビ・と ブロッコリーの パン	パン80g・ブロッコリー60g・アンチョビ2 枚・ニンニク少々・生卵1・牛乳各 1/4カップ・オリーブ油少々・塩・胡椒	①ブロッコリーは切り分けて堅めにゆで、ニンニクは叩きつぶし、アンチョビは小さく切る。 ②鍋にオリーブ油とニンニクを入れて炒め、アンチョビも入れて炒め、生卵1を少しずつ加えて弱火で煮詰め、やや堅くなったら牛乳でのぼし、塩で調味する。 ③②にブロッコリーとコショウを振り入れてひと煮し、ゆでたパンを加えて全体を混ぜ、皿に盛る。
納豆そば	干そば80g・野沢菜漬・沢・漬各 10g・納豆40g・卵黄1個 かけつゆ(割り少々・醤油・味 噌各1/2カップ・水1/2杯)・だし汁 適宜・薫味(刻みネギ3g・大根がれ 20g・おしょぼい・煎り白ゴマ・もみか 各少々)	①かけつゆを作る。鍋に全部の材料を合わせて火にかけ、煮立ったら火を弱めてあくをすくいながら1~2分煮つめ、ふきんでこして倍量のだし汁で薄めにする。 ②野沢菜漬・沢・漬は細かく刻む。 ③納豆は糸を引くまで良くかき混ぜる。 ④薫味の刻みネギ・大根おろし、おろししょうが、もみのりをそれぞれ適宜用意する。 ⑤干しそばはゆでて水洗いし、水気を良く切って器に盛り、②の煮け物、③の納豆、④の薫味を彩りよくのせ、中央に卵黄をのせ、①のかけつゆをかける。
冷し麺めん	干そばめん100g・鰯ささみ1本・ わたり1/2本・ミカガ1/2杯・煎り白 ゴマ1/2杯・ズブ1個 かけつゆ(だし汁1.5カップ・醤 油各1/2杯・みりんがり1・塩 少々)・酒・塩	①かけつゆの材料を合わせてひと煮立ちさせ、つめたく冷やしておく。 ②鰯ささみは筋をとって酒少々を振り、10分ほどおいて熱湯でゆで、さめたたら細かくさく。 ③オクラは薄い輪切りにし、塩(水1/2杯)に塩小さじ1の割合)に15分つけてからもみ、堅く絞って水気を切る。 ④ミカガは縦半分に切ってから千切りにし、さっと水にくぐらせて水気を切り、ズブは半分に切る。 ⑤そめめんはゆでて水洗いし、水気を良く切って器に盛り、②~④の具をのせてズブをぶり、①の冷たいつゆを注ぎ、ズブを絞っていただく。
酸辛味そば	中華めん1玉・小玉20g・豚赤身 肉30g・オクラ30g・木綿豆腐1/4 丁・戻した干し椎茸1枚・ゆで竹 ノ20gt・マツタケ3個・祥1/4本・戻 したキララ少々・卵1/2個・鰯がラ ス1/2カップ・醤油がり1.5・塩がれ 1/2・酒がり1・酢がり1弱・コショウ・水 落き片栗粉がり2・油	①ズブは背わたと殻をとって3~4に切り、豚肉・オクラ・豆腐・椎茸・カノ・ビーマン・祥・キララは細切りに切りそろえる。 ②鍋に鰯がラスを煮立て、①の具を火の通りにくい順から入れて平均に火を通し、醤油・塩・酒・多めのコショウを加えて調味し、全体に味がなじむまで煮る。 ③②に水落き片栗粉をとろみの加減を見ながら入れ、薄くとろみがついたら落き卵を細く流して全体に回し入れ、仕上げに酢を入れて味を調整する。 ④ゆでたての麺を器に入れ、③をかけてズブを振りかける。

—コラム〈これがJリーガーの朝食だ！〉—

図の写真を見て欲しい。これは夕食ではない。Jリーガーの朝食だ。君達はこんなに食べているだろうか。都内のあるチームを調べたら、何と約半数の選手が貧血だった。食事調査をしたら、エネルギー必要量の80%しか摂っていなかった。Jリーガーの朝食が彼ら高校生の夕食。朝食に至っては、食パン一枚にジュース一杯程度の選手が多くいた。これでは貧血になって、力が出ないのも無理はない。ちなみに、このチームでは栄養士の先生のアドバイスに従って食事を改善したところ、貧血は全員が改善された。りっぱな脚をつくってスタミナをつけたかったら、とにかく朝ごはんからたくさんしっかり食べることだ。そのためには、合宿の時のようにどんぶりで食べるのがミソ。さあ、ふつうの茶碗で食べてる君、今日にでもお母さんに行って、おやじの茶碗よりもりっぱなどんぶりを買ってもらおう。

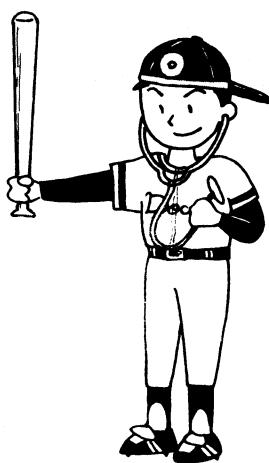


9. スポーツと学力を両立する スポーツライフの組み立て方

小沢治夫（筑波大学附属駒場高校教諭）

1. 秀才のメダリストたち

プロ野球の元広島カープのホプキンス選手は医者であった。ちょっと古くは、ミュンヘンオリンピック金メダリストであり福岡国際マラソンで4連覇したショーター選手は弁護士、スピード・スケートで4種目金メダリストのハイデン選手も医者、そしてサッカー界ではジーコと同世代のブラジル代表キャプテンのソクラテス選手はやはり医者である。彼らはみな一流のスポーツ選手でありながら、学業面でも優秀な能力の持ち主であった人達だ。これほどの選手のようにはなれなくても、私たちもこんな選手に一歩でも近づきたいものだ。そして現役選手をしりぞき最高のプレー・競技ができなくなつた後でも、一人前の社会人として人生を送ることができる、そんな力をつけておきたいものである。



そのためには、人に平等に与えられた1日24時間を、どのように過ごすかが重要なポイントとなる。ここではそんな生活の管理法、これをスポーツ・ライフ・マネジメントというが、特に体力と学業の両方をアップするためのポイントを伝授しよう。

2. 自由時間をたっぷりとるための生活の仕方がポイント

いくら秀才といっても、何も勉強しないで良い成績があげられるはずはない。それには何と言っても勉強時間の確保。そんな生活づくりが重要。

そこで、勉強時間の確保には・・・

練習が終わったらすぐに帰って夕食

ハードな練習をすると、タンパク質を筋肉につくり変えてくれる働きをもった成長ホルモンが脳から分泌される。このホルモンのおかげで筋肉は太く丈夫になる。しかし、このホルモンも練習を終了した後1時間半もすると消えてしまう。だからその前に夕食を食べるのだ。

また、成長ホルモンは睡眠中にもたくさんつくられるから、夜はしっかり寝ることが大切なのは言うまでもない。合宿の時なら、たっぷり昼寝をするのが筋肉づくりには大切ということだ。

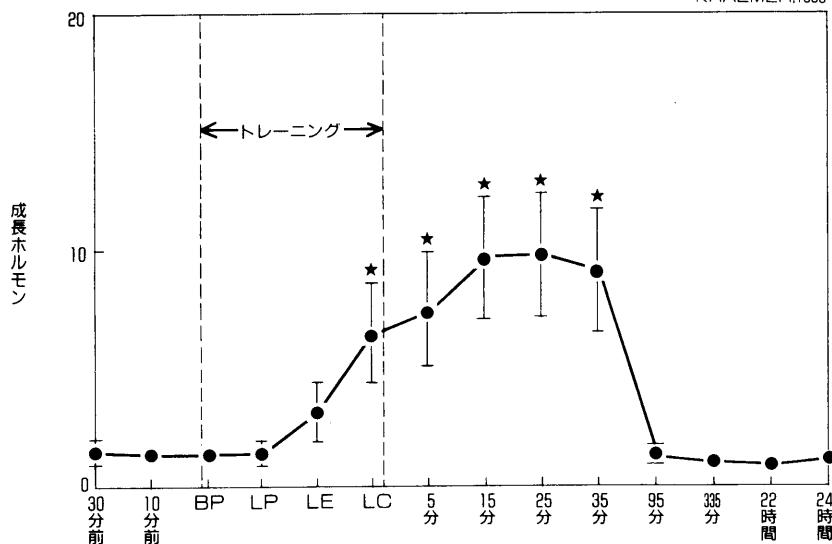
走ったり跳んだりなどの運動する時のエネルギー源は、ご飯やパンなどに含まれる炭水化物である。この炭水化物もタンパク質と同じように、練習後なるべく早く補給した方が体内への吸収が早い。練習後は、コンビニに寄つてダラダラ食いしないで、早く家に帰ってしっかり食べる。夜はしっかり寝る。これが、スタミナづくり、筋肉づくりのツボだ。

夕食後の自由時間をたっぷりつくろう

学校から遅く帰って、遅く夕食を食べ始めると、体力アップに効果的でないばかりではなく、寝るまでの夜の自由時間も少なくなってしまう。家に8時に帰って、夕食を終えるのが9時、なんて生活では、それから寝るまでの時間はわずかしかない。

(ng/ml)

KRAEMER, 1993



BP : ベンチプレス
 LP : ラットブル
 LE : レッグエクステンション
 LC : レッグカール

図1 ウエイトトレーニングを行った後、成長ホルモンは約90分間分泌されている。

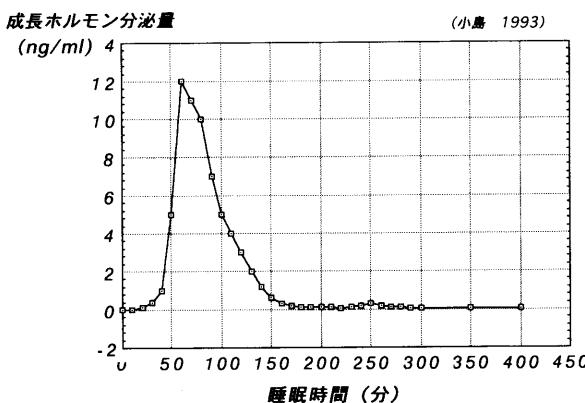


図2 入眠後、約60分で成長ホルモンの分泌量は最も多くなる。

日本のジュニア・スポーツ選手の勉強時間を調査したところ、中学生では平均すると約1時間、高校生になるとなんとわずか30分しか家庭で勉強していないことが判明した。平均30分というのは4人中1人が2時間勉強していれば、あの3人は毎日まったく勉強しないという計算になる。これでは、日本のスポーツ界からソクラテス選手やホプキンス選手のようなプレーヤーは現れない。

このように勉強時間が短い原因のひとつは、帰宅して夕食後から就寝までの時間が短いことがあげられる。夕方7時までに食事をすませれば、11時に寝るとしてもこの間の自由時間は約4時間もある。そうなれば、テレビや本を見る時間だって風呂にゆっくりかかる時間だって、友達と長電話する時間だってとれる。勉強だってせめて1時間くらいはできるだろう。夜の自由時間を長くするライフ・マネージメント、これが学力アップのポイントだ。

朝食はしっかり食べる

朝食をしっかり食べている人と食べていない人の体温を比べてみると、毎日しっかり食べている人の体温は、寝ている時も起きている時も高い。つまり

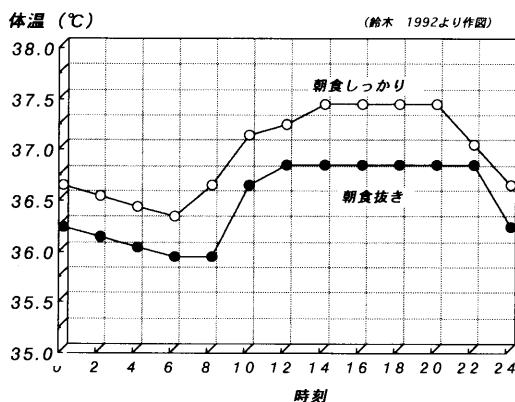


図3 朝食を抜くと体温は上らない。

りからだが冬眠していないわけだ。だから、練習で疲れた身体、傷んだ筋線維が睡眠中にしっかりと修復されやすいのだ。また日中もからだが目ざめているから、活動性も高く、もちろん元気いっぽいだ。それに比べ、朝食抜きの選手は低体温のために、体が目ざめておらず、午前10時や11時になってもシヤキッとしない。この時刻、ひょっとしたら英語や数学の時間、これを読んでいる君、居眠りなんかしていないだろうな。もし、朝食抜きで居眠りをしているようなら、明日から、しっかり朝ごはんを食べることだ。

3. QC シートで成績アップ

T 高校サッカーチームの調査では、40人の全部員に QC シートをつけるよう指導したところ、2年間にわたって QC シートを実施できた選手は27名、途中で止めてしまった選手は13名であった。毎日毎日、生活の記録をつけるのは楽でないから、できなかった選手の気持ちもわからないではない。

しかし、この二つのグループには大きな差が現れたのだ。実施できなかつたグループの選手たちは、もともと学校内での偏差値が約47（学年で真ん中より少し下）とやや低かったのだが、1年間たっても成績には変化はなく、また13人の選手を個々に見ても、成績が向上した選手は1人もいなかった。

一方、QC シートが実施できた選手のグループは、もともと偏差値は約

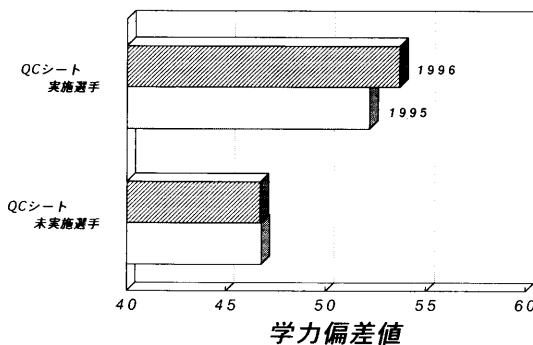


図 4 QC シートを実施した選手達は成績が良くしかも向上している。

52（学年で真ん中より少し上）と成績のややよい選手が集まっていたが、1年後にはさらによくなつて偏差値は約54にまで上昇した。個々にみても、27人中11人が上昇しており、中には偏差値60以上に二階級特進の選手や、学年トップクラスの選手も現れた。

スポーツ選手が、強くなるためには、自分の体調や記録・技術などの自己分析ができることが大切。そんな自己分析や自己管理の道具に使えるのがQCシート。QCシートを活用すれば体力や技術の向上、体調の管理ができるだけでなく、成績まで上昇させることができるので。陸上競技や水泳のような個人競技だけでなく、サッカーやバスケットボールのような集団スポーツの選手も、いまや自分の生活全般を自分でしっかりと管理する時代なのだ。QCシートを有効に使って、強い選手、学業成績も良い選手になろうではないか。

ただし、成績の良い生徒の特徴は粘りがあること。だからQCシートもやれる。まずは粘り強くQCシートに取り組むことも大切だ。

4. 1週間の練習と生活プログラム例

		授業		授業			学習			睡眠
月										
火		授業		授業	練習	トレーニング		学習	軽負	睡眠
水		授業		授業	練習			学習	荷ト	睡眠
木		授業		授業	トレーニング			学習	レニ	睡眠
金		授業		授業	練習			学習	ング	睡眠
土				練習				学習		睡眠
日		試合	トレーニング				学習			睡眠

☆1週間に2～3回は重負荷のウェイトトレーニング

(例:火, 木, 日)

☆家庭では、就寝前に軽負荷のウェイトトレーニングを10分間

5. 受験期でも体力は伸びる

スピード・スタミナ・パワーはどんなスポーツにも必要な体力の三要素。これらのうちスピードを簡単に測るテストが30m ダッシュだ。その方法は2人1組で、ひとりがカラーコーンの頭を手でたたいてダッシュし、もう一人は30m 先でタイムを計るという簡単なものである。このタイムを、ある

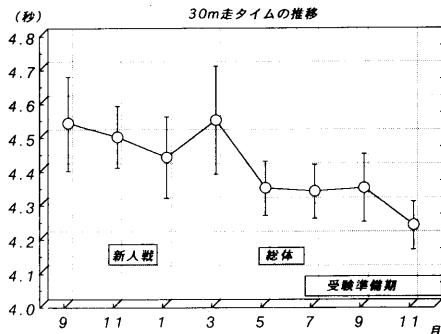


図5 受験準備期でも体力は伸びる。

高校のサッカー選手たちの2年生から3年生にかけての推移からみてみよう。9月から11月・1月と新人戦に向けてしだいにタイムが上がっているのがわかる。1月から3月にかけてはタイムが少し落ちているが、これはこの時期にウェイトトレーニングを重点的に行って筋肉の量が増え（体重も増え）る、その結果、一時的にスピードが落ちたためだ。しかし、高校総体（インターハイ）に向かって、またタイムは上がってく。そしてこの大会を境に部活動を去り、受験勉強に入っていく。

ところが、大学入試まであとわずかの11月になってもタイムはまだ伸びていているのだ。中には4秒13を記録した選手もいる。ちなみに、Jリーガーなら4秒00を切ってしまうが、受験進学校の生徒としては上々のタイムである。この他にもメディシンボール投などで測られるパワーも上がっており、またそのためにボールのキック力やスローイング力も伸びている。

このように、受験準備期に入っても体力が伸びるのは、この時期は終盤にはあるもののまだ成長期にあり、成長ホルモンや男性ホルモンが分泌されているため、からだは筋力がつきやすい準備ができているからである。だからこの時期に適度にトレーニングをして筋肉に適度な刺激を与えてやれば、まだまだ身体は鍛えられるのだ。そのためには学校の体育の授業を活用すること、たまにはトレーニングルームでウェイトトレーニングなどを行うこと、

家では寝る前に軽い負荷のトレーニングを行うことなどが大切だ。

なお、大学に入学した時体力の落ちている新人はケガが多いことが調査の結果わかっている。大学へ行って強くなるためにも、この時期のスポーツライフ・マネージメントは重要だ。

6. 受験期を乗り切るスポーツライフ

中3から高校入学時（高校から大学入学時）までのスポーツライフマネージメント例

月	6:00	授業 (体育)	12:00	授業	学習	18:00	学習	24:00	睡眠
火		授業		授業	練習 トレーニング		学習		睡眠 軽負荷
水		授業 (体育)		授業	学習		学習		睡眠 トレー
木		授業		授業	練習		学習		睡眠 ニン
金		授業 (体育)		授業	学習		学習		睡眠 ング
土				練習 トレーニング	学習		学習		睡眠
日		学習		学習	学習		学習		睡眠

☆週3回の体育の授業を有効に活用

☆就寝前に軽負荷のウェイトトレーニングを毎日10分間

☆週2回は重負荷のウェイトトレーニング

☆練習後の学習は図書館などを使って有効に

7. 先輩の声

卒業して大学生あるいは社会人になっている先輩から、後輩の君たちへ勉学面でのアドバイスを寄せてもらった

☆勉強する時間をきちんと決めて、やることだ！

☆勉強する時には、気持ちを切り替えることだ！

☆勉強は、集中してやるのが超大事！

☆達成すべき具体的な目標をつくるのもいいぞ！

でも、無理な目標はだめ。

☆スポーツした直後は疲れていて使い物にならないので勉強はしない。

勉強は休息をとって、すっきりした頭でやる！

☆短時間で効率よく！ だらだらやるのはダメ！

長時間やればいいものではない。

☆成績が上がらないことをスポーツのせいにしない！

原因は他にある。それをはっきりさせること。

☆1週間を、スケジュールをたてて行動すること。

練習のないオフの日を有効に使おう！

☆授業時間は集中！ これ絶対！

☆気分転換する方法を見つけるのも大事だ！

☆これだけはやる、ということをしっかり決めておく。

☆好きな科目を一科目でも作っておくのがチョベリグ。

うまくいかない時は、好きな科目だけでも普段やっておく。

この中から、ひとつでもいいから実行してみてはどうだろう。君の成績アップは間違いなしだ。

——コラム〈スポーツと学業を両立させた F 君〉——

F 君は、小学校の時からサッカーハンター少年。中学では、区大会で準優勝し選抜選手にも選ばれた。高校では、人柄の良さもあってキャプテンに推された。しかしこの頃から成績は落ちるし、試合でも活躍できないことが多くなった。まじめな性格が災いして、キャプテンとしての責任感が疲労をため、勉強も練習も歯車が狂ってしまったのだ。授業中も居眠りすることが多くなってしまった。

そこで彼は、自分はいったい何をしたらよいのか考えた。「そうだ、大学へ行ってもっとサッカーで活躍するのだ。小さいころからの夢は医師になることだ。志は大きく持たなくちゃ。自分のチームのことだけできゅうきゅうとしていてはダメだ」と。

それからは、グラウンドではサッカーのことしか考えない。家に帰ったらすぐご飯を食べて休息。8 時から 2 時間は集中して勉強。その結果、元の力が十分発揮できるようになり、成績も急上昇。ついに国立大の医学部に合格してしまった。

現在大学生の彼は、医学部にいながら有名リーガーを多く輩出している大学の一軍で活躍中。

おわりに

鈴木正成（筑波大学）

本ガイドブックは、ジュニア期のスポーツライフについて、様々な視点から現実的なあり方を提示しています。理想像と現実との間に大きな幅があるかもしれません。それを、仕方がないとか、自分たちには無理なこととしてしまわないで、少しでも理想像に近づける努力をすることが大切です。なぜなら、毎日何時間もの人生を投入しているのに、スポーツライフが不合理であるために、小さな成果で終わるとすれば、それは人生を大事にしていないことと同じになるからです。

ジュニア期のスポーツ体験によって、その後の人生が豊かになることを証明した先輩が多数いる中で、その恩恵をあまり受けずに終わった人たちもいます。

スポーツに励むことが、1人の例外もなく有意義な成果をうることにつながるよう、選手はもちろん、監督・コーチ、学校の教師、そして父母が力を合わせてスポーツライフの改善に取り組むことが大切です。そのため、本ガイドブックが役立てば幸いです。